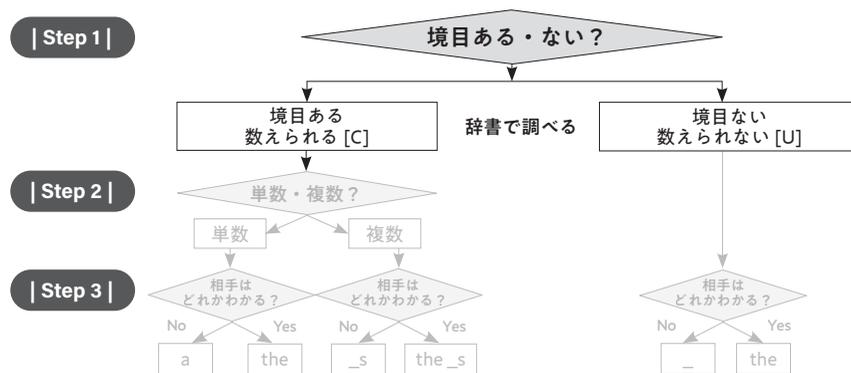


日本語の訳語は同じだが、 英語では [C] と [U] が異なる名詞

日本語だと同じ意味になったり、似た訳語があてはまる英単語も数多く存在します。たとえば、research と study は日本語にすると、どちらも「研究」になります。こうした英単語は日本語にすると意味が同じか、似たような表現になりますが、可算 (countable: 以下 [C]) か不可算 (uncountable: 以下 [U]) で考えれば、異なるカテゴリーに属することがあります。ですので、冠詞選びの出発点である「数えられるか・数えられないか」を判断するステップを忘れると、よく間違いを犯してしまいます。

このセクションでは [U] と [C] の判断ミスをしばしば見かける英単語を集めてみました。紹介する単語は可算・不可算を表示する英和辞典、英英辞典で調べれば、カテゴリーがわかるものばかり。ですので、冠詞選びの初めの一步 Step 1 で [U] と [C] を迷ったら、まずは辞書を引いて確かめましょう。

練習問題では「純粹 [U] 名詞」を多く取り上げました。これはどんな文脈でも「境目がなく数えられない [U]」カテゴリーに入る名詞で、英語の膨大な語彙の中ではほんの少ししかありません。覚えておいて損はありません。



続く問題で、[C] 名詞には a と複数形 s が付くケースのみ扱っています。[U] 名詞の場合はすべて無冠詞です。

Q. 括弧内には a が入りますか、それとも無冠詞ですか。

学生たちは無炭素エネルギー生成の研究について学んだ。

Students learned about (1) **research** on the generation of carbon-free energy.

学生たちは無炭素エネルギー生成の研究について学んだ。

Students learned about (2) **study** on the generation of carbon-free energy.

1. 無冠詞

research は [U] 名詞なので無冠詞で使う。不定冠詞を付けて a research とするのは間違い。researches という複数形を目にすることがあるが使い方は限られていて、数える場合には piece of, two pieces of research のようにいう。

例：extensive research 広範囲の研究、insufficient research 不十分な研究、marketing research (市場調査)

2. a

study は個別の「研究」を表す [C] 名詞。単数ならば a study, 複数ならば studies の形になる。

Q. 括弧内には a/an が入りますか、それとも無冠詞ですか。

砂糖は有機物です。

Sugar is (3) **organic matter**.

砂糖は**有機物**です。

Sugar is (4) **organic substance**.

3. 無冠詞

「物質」を意味する matter は [U] 名詞。「印刷物」(printed matter)、「読み物」(reading matter) などの意味で使われる時も集合的な概念で数えられない。ただし「事柄、問題、事件」などを表す時は数えられるカテゴリーに入る (例: a matter of great importance 「大変重大な事」)。広義の単語で、[C] か [U] かで意味が大きく変わるので、用法を辞書で確認して判断すること。

4. an

「物質」を意味する substance は [C] 名詞。

Q. 括弧内には a が入りますか、それとも無冠詞ですか。

新型コロナウイルス感染症の発生直後、トイレット・ペーパーがひっぱりだこの**商品**になった。

Toilet paper became (5) hot **commodity** soon after the outbreak of COVID-19.

マスクや手の消毒液などの**商品**への需要も大きかった。

There was also a strong demand for certain types of (6) **merchandise**, such as face masks and hand sanitizers.

5. a

commodity は「商品、日用品、生活必需品」を表す [C] 名詞で、しばしば複数形 commodities で使われる。

6. 無冠詞

merchandise は集合的に「商品」を表す [U] 名詞。似た単語に常に複数形で使う goods がある。

Q. 括弧内には a が入りますか、それとも無冠詞ですか。

コメディアンの冗談に**大きな笑い声**が起こった。

The comedian's joke got (7) **big laugh**.

コメディアンの冗談に**大きな笑い声**が起こった。

The comedian's joke drew (8) **loud laughter**.

7. a

laugh は [C] 名詞で「笑い、笑い声」を指す。数えられる名詞なので、笑い声の「始まりと終わり」が感じられる単語。笑い方の違いを描写できる同義語も多く、a smile (声を出さずに笑う表情)、a chuckle (低い声での笑い)、a giggle (くすくす笑い)、a guffaw (高笑い、ばか笑い) などがある。これらの単語はどれも [C] 名詞として使う。

8. 無冠詞

laughter は [U] 名詞。laugh は一人の比較的短い時間の笑いを指すことが多いが、laughter はより長い期間の笑いを指す。笑いの行為や音声に重きを置く語。a fit/fits of laughter は「突然起こる笑い声」の意味で a fit ならば単発、fits ならば繰り返しの笑い声を表現できる。

Q. 括弧内には a が入りますか、それとも無冠詞ですか。

そ公園のスペースを使うには市の**許可書**が必要だ。

You need to get (9) **permit** from the city to use the park space.

その公園のスペースを使うには市の許可が必要だ。

You need to get (10) **permission** from the city to use the park space.

9. a

permit は「許可証、許可書」の意味で [C] 名詞。

10. 無冠詞

「許可、認可、許し」の意味の permission は [U] 名詞なので get a permission とするのは間違い。ただし公文書の「許可書」の意味で使う時は [C] 名詞で permissions とすることもある。この場合、通常は複数形で使う。

Q. 括弧内には a が入りますか、それとも無冠詞ですか。

上司の有益な助言があった。

My boss gave me (11) useful **advice**.

上司の有益な助言があった。

My boss gave me (12) useful **tip**.

上司の有益な提言があった。

My boss made (13) useful **suggestion**.

11. 無冠詞

advice は純粹 [U] 名詞で形容詞 useful が付いても無冠詞のまま。数えるには a piece/word of advice など何らかの単位を付ける必要がある。日本語で「アドバイスが3つ」などと言うので「数えられる」と勘違いすることがある。数えるためには three pieces of advice としなくてはならない。

12. a

tip は [C] 名詞で単数ならば a tip、複数ならば tips とする。

13. a

具体的なある「提言 suggestion」は内容によってはほかの suggestion と区別できるので「数えられる」と認識される。ここでは単数なので a が付く。

■ ワンポイントアドバイス ■ 純粹 [U] 名詞

英語の名詞は「数えられる」と「数えられない」の2大カテゴリーに分けられ、どちらに分類されるかにより冠詞の用法が変化する。日本人が冠詞はむずかしいと思うのは、同じ単語が状況の違いによって両方のカテゴリーで使われるのが大きな原因。ただ純粹 [U] 名詞に関しては、「数えられない」カテゴリーでしか使えない。つまり全体フローチャートを見ればわかるように、冠詞の選択は無冠詞か the かの二者択一になる。その意味で純粹 [U] 名詞を覚えておけば冠詞の迷いが減る。

『フローチャートでわかる英語の冠詞』 p.47-49 参照

Q. 括弧内には a が入りますか、それとも無冠詞ですか。

トマトには目の健康に良い栄養素であるリコピンが豊富に含まれている。

Tomatoes are rich in lycopene, (14) **nutrient** good for your eyes.

栄養の点で、ドライ・トマトにはリコピンが豊富に含まれている。

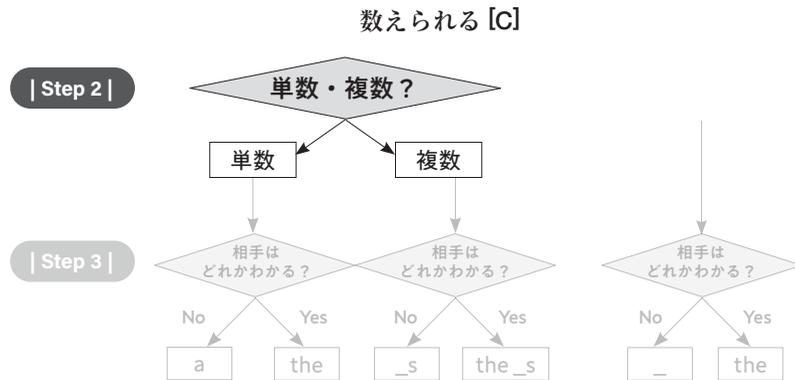
In terms of (15) **nutrition**, dried tomatoes are rich in lycopene.

14. a

lycopene (リコピン) は栄養素の1つであり、nutrient は種類別に1つ、

単数？ 複数？

Step 1 では、名詞が示すものが数えられる・数えられないの 2 大カテゴリーのどちらに属するかを見極めました。次の Step 2 は数えられる [C] 名詞だけに必要です（数えられないものには単数も複数もありません）。



この章の前半では数えられる [C] 名詞の単数・複数を見極める練習をします。[C] 名詞の冠詞を選ぶ場合、「a か the か、それとも無冠詞？」と悩む前に、必ず単数か複数かを判断する必要があります。簡単そうに聞こえますが、日本語では数を明示せずに言及できるので意外とむずかしいです。たとえば「りんご」と言っても、それだけでは 1 個なのか 2 個以上なのかかわからないので、英語を書く時 **apple** を冠詞や **s** を付けずに裸のまま使ってしまうことがあります。単数無冠詞の **apple** を文で使うと、形に境目のないりんご（スライスしたり搾りおろしたりした状態）を意味します。

章の後半では、普段は数えられないと思われる抽象名詞が「数えられる」[C] 名詞として使われるケースを取り上げ、[U] から [C] への認識の変化を感じながら単・複を判断する練習をします。

『フローチャートでわかる英語の冠詞』 p.56-76 参照

常に複数で使う [C] 名詞

Q. 括弧内に適当な単語を入れてください。

サングラスを持ってくるのを忘れた。

I forgot to bring my (1).

水をグラスに一杯ください。

Bring me (2) of water, please.

1. sunglasses

サングラスにはレンズがふたつ対になっているので常に複数形で使い、a pair of sunglasses, two pairs of sunglasses と数える。普通の眼鏡 (glasses) も同様。

2. a glass

「グラス (ガラスの器)」は [C] 名詞なので単数形は a glass、複数形は glasses とする。

単数無冠詞の形で glass を使うと [U] 名詞のカテゴリーに入るので、意味が変わり、素材の「ガラス」になる。この場合は無冠詞で使う。

例：This tabletop is made of glass. このテーブル上面はガラス製だ。

Q. 括弧内で適当な単語を選んでください。

キャンプに**双眼鏡**を持ってきて。バードウォッチングに行くよ。

Bring (3 a binocular · binoculars) to the camp. We'll go bird

watching.

キャンプに**望遠鏡**を持ってきて。星を見に行くよ。

Bring (4 **a telescope · telescopes**) to the camp. We'll go star watching.

3. binoculars

双眼鏡 binoculars はレンズがふたつあり、両目で見るので、通常複数形で使う。数えるためには a pair of binoculars, two pairs of binoculars とする。

4. a telescope または telescopes

望遠鏡 telescope はレンズがひとつなので単数なら a が必要。

日本語では何個持っていけばよいのかわからないので、状況によっては複数形の telescopes もあり得る。

Q. 括弧内で適当な単語を選んでください。

オンライン販売業者はブランド価値を高める**コンテンツ**を作りたいと願っている。

Online marketers wish to create (5 **content · contents**) to increase their brand value.

エミはベッドにスーツケースの**中身**をぶちまけた。

Emi dumped the (6 **content · contents**) of her suitcase on the bed.

5. content

「コンテンツ」というカタカナ語の影響で s を付けて contents としがちである。しかしウェブサイトの中身（テキスト、画像、ビデオなど）や

本・講演などの内容を示す content は [U] 名詞。無冠詞 content が正しい。

6. contents

容器や引き出しなどの具体的な中身を指す時は複数形 contents が適切。本の目次も a table of contents とする。

Q. 括弧内に lung と stomach を適当な形にして入れてください。

マリファナを吸うと肺に悪いことが知られている。もちろん日本では違法である。

Smoking marijuana is known to harm the (7). And, of course, it's illegal in Japan.

ニンニクは多くの栄養素を含んでいるので胃に良い。

Garlic is good for the (8) because it contains many nutrients.

7. lungs

肺はふたつあるので複数形の the lungs とする。ほかにも「腎臓」など the kidneys として複数形にする。身体の部位である臓器を総称する時は the を付ける（くわしくは 164 ページ「身体部位・発明品・種を総称する the」参照）。

8. stomach

胃はひとつなので単数形の the stomach。the heart（心臓）、the liver（肝臓）、the brain（脳）などの身体部位も同様に the を伴う単数形にする。

Q. 括弧内で適当な単語を選んでください。

お医者さんに、ポテト**チップ**や**ラーメン**などの脂肪分の多い**加工食品**を避けるように言われた。

[U] 名詞と the

いよいよ最後のステップです。ここでは [U] 名詞の the の判断に焦点を当てます。

Step 1 で境目がなく数えられないと判断した [U] 名詞の場合、単数・複数に関係ないので、Step 3 に進み the が付く・付かないを判断します。二者択一なので冠詞の選択は [C] 名詞より簡単です。[U] 名詞の場合、無冠詞であれば特定しないので総称していると考えられます。the が付くのは「相手がどれかわかる」時、コミュニケーションの相手と知識を共有できる時に限られます。

数えられない名詞の冠詞選択

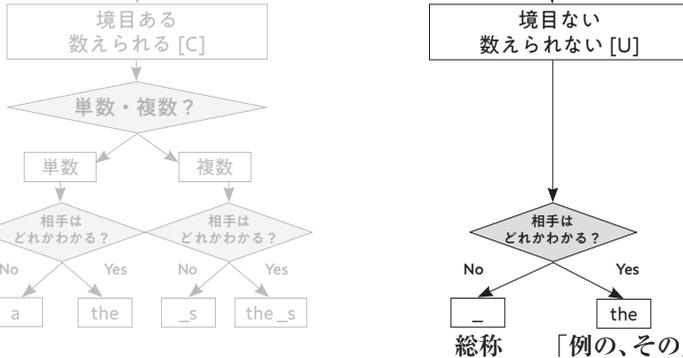
無冠詞 → 総称

the → 相手がどれかわかる

「例の、その」と言える（限定される）

| Step 1 |

境目ある・ない？



『フローチャートでわかる英語の冠詞』 p.89-95 参照

Step 3-1

練習問題

Q. 括弧内に oatmeal を適当な形に入れてください。

オートミールは健康的な朝ごはんだ。

(1) is a healthy breakfast food.

スーパーでオートミールを買ってきてくれる？

Can you get me (2) at the supermarket?

1. Oatmeal

oatmeal は [U] 名詞。ここでは「それ、例の」と言っていない。「オートミールというもの」を総称するため、無冠詞で使う。

2. oatmeal または some oatmeal

一般的に oatmeal に言及しているので無冠詞。買うのは「いくばくかの量」のオートミールなので some を付けることがある。[C] 名詞でも「いくばくかの数」を表すのに some が使われる。たとえば「(いつもの) スーパーで卵買ってきて」は次のように言える。

Can you get me **some eggs** at the grocery store?

Q. 括弧内に water を適当な形に入れてください。

水分補給に最も適しているのは水です。

(3) is the best choice for hydration.

暑い夏の日に外出する時は、熱中症予防のために水を携帯して直射日光を避けてください。

When going out on a hot summer day, bring (4) and avoid direct sunlight to prevent heatstroke.

メダカを入れる前に、水槽に入っている水のカルキを抜く必要があります。

You have to dechlorinate (5) in the tank before using it to keep your medaka fish.

3. Water

Water は物質を表す [U] 名詞なので単に「水」を総称する時は無冠詞単数で使う。

4. water または some water

bring water として無冠詞だと、「ジュース等ではなく水」という感じになる。「いくばくかの量」が意識される時は bring some water と言う。

5. the water

この文では water は「水というもの」を総称しているわけではなく、「水槽の水」に限定しているのだから the water になる。

Q. 括弧内には the が入りますか、それとも無冠詞ですか。

悪貨は良貨を駆逐する。

(6) bad money drives out (7) good money.

ユキはこの夏の間、新聞配達をして稼いだお金を貯金した。

Yuki saved (8) money he had earned delivering newspapers during the summer.

6. 無冠詞 Bad

money は純粹 [U] 名詞なので、総称する時は形容詞 bad で修飾されて

も無冠詞で使う。

これは「グレシャムの法則」と呼ばれる貨幣に関する経済学の法則を表すフレーズ。転じて悪いものが流行ってよいものを駆逐するさまや、悪人がはびこって善人が圧迫されることなどのたとえに使われる。

7. 無冠詞

上記と同じ理由により、無冠詞で good money とする。

8. the

「お金に色はない」とは言うが、「夏の一定期間に新聞配達をして稼いだお金」は金額も分かり十分限定されているのだから the を付けるのが適切。

Q. 括弧内には the が入りますか、それとも無冠詞ですか。

ヤンは英語を書いくのが得意で、読むのも上手い。

Yan is good at writing (9) English and reads it quite well.

だから私の原稿の英語をチェックしてくれるよう彼女に頼んだ。

So, I asked her to check (10) English in my manuscript.

9. 無冠詞

「英語」を指す English は [U] 名詞なので、総称する時は無冠詞。American English 「アメリカ英語」、British English 「イギリス英語」などに分類した時も [U] 名詞として使う。

10. the

ここで English は「私が書いた原稿の英語（の文章）」に限定され、相手にも「どの英語」かわかるので the を付ける。the English sentences や the English text とも言える。異なる文脈であれば、the English がイギリスのイングランド地方出身の「イングランド人」を指すこともある。この時 the は集団をまとめる働きをしている。

Q. 括弧内には **a, the** のどちらが入りますか、それとも無冠詞ですか。

注意するポイント：[C] 名詞ならば、「唯一」を示す **the** が必要なのか、「いくつかあるうちのひとつ」を示す **a** が必要なのかの判断。

Job Opportunity: Systems Engineer for Parker Electronics Manila Office

Parker Electronics is actively seeking (24) exceptionally skilled systems engineer to lead our Manila office, scheduled to open its doors in October. This extraordinary opportunity offers (25) perfect platform for (26) ideal candidate to grow in tandem with us as we embark on our exciting journey into the thriving Philippine market.

To qualify for this role, you should possess the following essential qualifications:

- M.S. degree in engineering or a related field
- (27) minimum of ten years' proven experience as a seasoned systems engineer
- Preferably, (28) background in direct management
- While (29) Philippine nationality is preferred, foreign applicants with a valid work visa are also eligible for consideration
- Willing to take on risk when necessary

If you meet these criteria and are ready to take your career to new heights, we eagerly await your application. Join us at Parker Electronics and be part of (30) exciting future in Manila!

24. an

exceptionally skilled systems は engineer を修飾している。このように名詞の前に修飾語が 2～3 個置かれると、engineer に対して冠詞が必要になるが無冠詞で使っているのをよく見かける。無冠詞の engineer は「数えられない人」になってしまうので注意が必要。

engineer は [C] 名詞で単数なので、ふさわしい冠詞は **an** か **the** のいずれかである。初出で特定されていないので不定冠詞が来る。

25. a または the

a perfect platform は「申し分のない、理想的な」を意味するが、ほかにも同様の platform があることを含意する。the perfect platform にすると「唯一」の意味が出るので「完璧な」を強調する表現になる。

26. the

the ideal candidate は「最も理想的な人」という強調のニュアンス。

27. A

minimum は of 句で数値が後に続く場合、あるひとつの最小量を表すため **a** になる。

28. a

この background は「経歴、前歴、経験」の意味である。direct management 「直接的なマネージメント」の経験はいろいろ考えられ、ここでは特定できないので one of many の **a** が必要。

29. 無冠詞

nationality 「国籍」は [C] と [U] の両方の使い方がある。「フィリピン国籍」の場合は無冠詞で Philippine nationality。

30. an

future が形容詞 exciting で修飾されると「わくわくするような未来」の意味になり、ほかの様相の未来とは区別がつくので **a** が付く。